

はじめに

安全上のご注意ならびにその他の注意事項をお読みのうえ、ご使用ください。

表示部にシールが貼ってある場合は、ゆっくりはがしてください。

※静電気により黒い線、しみなどが発生することがありますが、しばらく放置しますと元に戻ります。

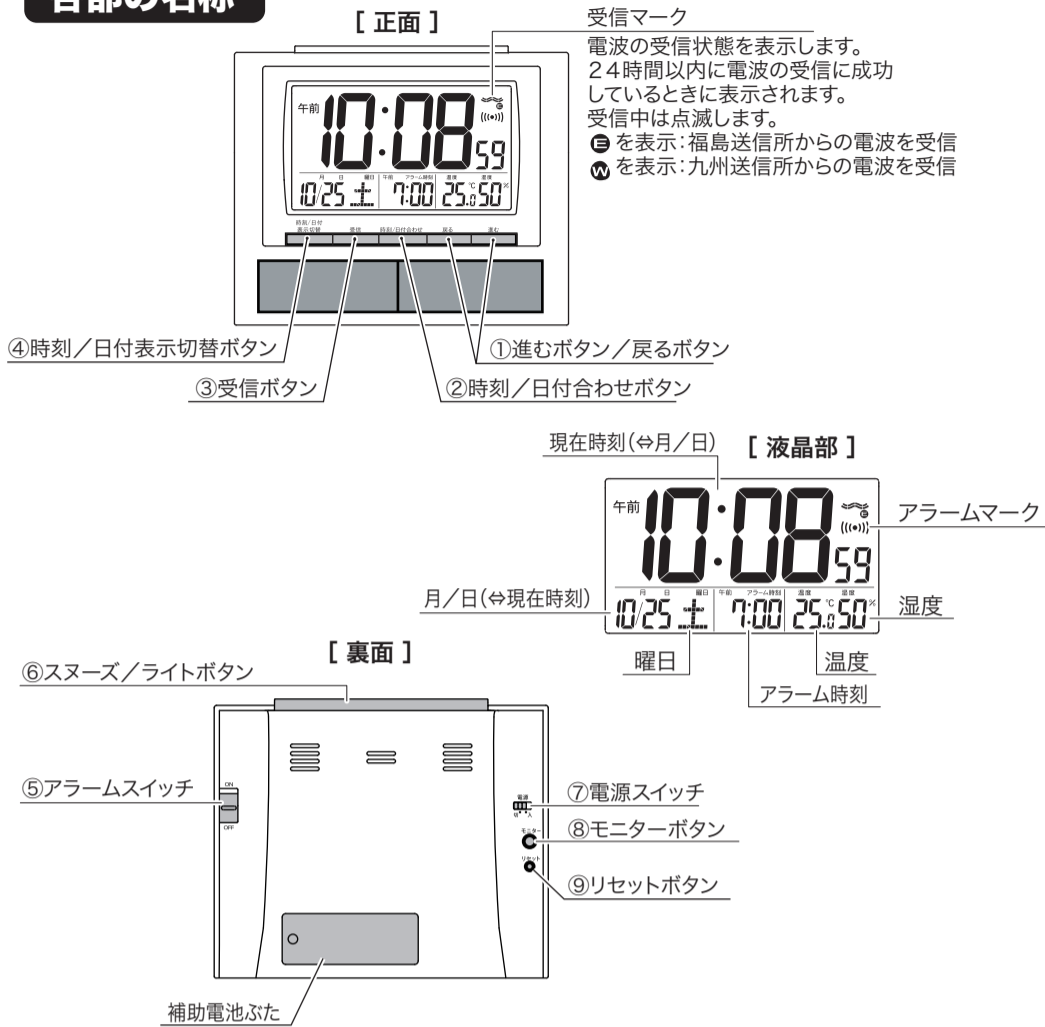
付属品

ご使用前に確認してください。

●取扱説明書(本書) 1枚 ●保証書 1枚

※補助電池:円筒形リチウム電池(CR123A 1個)は本体に組み込まれています。

各部の名称



- ①進むボタン/戻るボタン — アラーム時刻または手動で現在時刻や日付を合わせるときに使用します。
- ②時刻/日付合わせボタン — 手動で現在時刻や日付を合わせるときに使用します。(2秒以上押し続けてください)
- ③受信ボタン — 通常表示(日付・時刻が表示状態)のときに押すと、標準電波の受信を開始します。受信中に押すと受信を中止します。
- ④時刻/日付表示切替ボタン — 時刻と日付の表示位置を切り替えるときに使います。
- ⑤アラームスイッチ — アラームのON/OFFの切り替えができます。
- ⑥スヌーズ/ライトボタン — 押すとライトが点灯します。アラームが鳴っているときに押すとスヌーズ機能が働き、約5分後に再びアラームが鳴ります。ご使用時は電源を「入」にしてください。長期間ご使用されない場合は「切」にしてください。電源スイッチを「切」にした場合は、設定された時刻などはすべてリセットされます。
- ⑦電源スイッチ —
- ⑧モニターボタン — 押し続けている間、時刻に関係なくアラームが鳴ります。
- ⑨リセットボタン — 初期化を行います。(電池交換後は先端の細いもので必ず押ししてください。)

ご使用方法

1. 電源を入れてください

製品裏面の「⑦電源スイッチ」を「入」(右側)にしてください。

2. 「⑨リセットボタン」を先端の細いもので押ししてください

表示が全てついた後、時刻「午前12:00」となり、標準電波の受信を開始します。

注)電源を「切」から「入」に切り替えた後は、必ず「⑨リセットボタン」を押ししてください。

3. 時計を設置してください

本機を使用したい場所に置いてください。

(窓際などできるだけ受信しやすい場所でのご使用をお勧めします。)

- 受信中は、●マーク(または●マーク)が点滅し、受信マークが受信状態に応じて変化します。
- 受信に要する時間は最長約20分間です。

【受信成功】

受信マークが表示され、[月/日] [曜日] [時:分] [秒]が正しい日付と時刻に修正されます。



【受信に成功した場合】

【受信できない】

受信マークは表示されず、このとき時刻、日付の修正は行なわれていません。右記「■電波を受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時刻、日付を合わせてください。



【受信できなかった場合】

4. アラームを鳴らすには

- 「①進むボタン/戻るボタン」を押してアラーム時刻を合わせてください。
 - アラーム時刻合わせの状態が再度「①進むボタン/戻るボタン」を押し続けると早送ります。
 - 約4秒間押されない状態が続くと、自動的にアラーム時刻が確定し、[通常表示]に戻ります。
- 「⑤アラームスイッチ」をONにしてください。
 - アラーム時刻になるとアラームが鳴ります。
 - アラームマーク(●)が表示されます。

5. アラームを止めるには

アラームを止めるには2通りの方法があります。

アラームを完全に止める

- 「⑤アラームスイッチ」をOFFにして止めます。
- アラームマーク(●)が消えます。

約5分後に再度アラームを鳴らす(スヌーズ機能)

- 「⑥スヌーズ/ライトボタン」を押すとアラームが止まり、約5分後に再び鳴り出します。
- スヌーズ中はアラームマーク(●)が点滅します。
- スヌーズ機能は何回でも繰り返すことができます。

アラームは約5分間で自動的に止まります。(オートストップ機能)

この場合、アラームマーク(●)は表示されたままとなり、翌日のアラーム時刻に再びアラームが鳴ります。

ハイブリッドソーラー製品について

<光発電について>

- 光発電は、光をあてることでソーラーセルが光を電気に変換し、その電気で時計が動きます。
- できるだけ室内の明るい場所でご使用ください。
- ※寝室や窓のない部屋などでは十分な明るさが得られない場合があります。

<ハイブリッドソーラーについて>

- 本製品は、長期間のご使用を可能とするため、光発電とリチウム電池(補助電池)を併用しています。室内が暗い場合は補助電池のみで作動します。
- ※補助電池(円筒形リチウム電池 CR123A)がなくなった場合は、交換が必要になります。
- 長い間ご使用にならない場合は、「電源スイッチ」を「切」にしてください。補助電池の消費を抑えることができます。

その他の機能

■自動受信について

午前2時に自動で電波受信を行います。
(受信に失敗した場合は、午前6時まで1時間ごとに自動受信を繰り返します。)
受信に成功すると現在表示している時刻、日付を修正します。

■電波を受信できなかった場合

1. 電波を手動で受信させ時刻、日付を合わせる

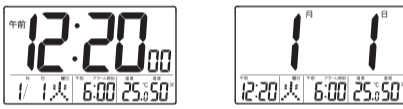
- 「③受信ボタン」を押してください。標準電波の受信を開始します。
 - 受信状態については、左記「ご使用方法」をご覧ください。
 - うまく受信できない場合は本体の向きや場所をかえて、もう一度受信させてください。ご使用中に受信マークが表示されない場合は、使用場所の受信状態が良くないことが考えられます。
 - 詳しくは裏面「電波クロックについて」をご覧ください。
- また、夜間は昼間にくらべて受信状態が良くなりますので、昼間に受信できなかった場合でも翌日までに自動で受信できる場合があります。

2. 手動で時刻、日付を合わせる

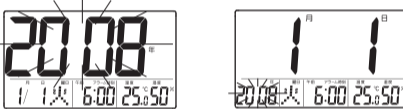
電波を受信できない場合は、手動で時刻、日付を合わせてご使用ください。

- 「②時刻/日付合わせボタン」を2秒以上押し続けてください。
 - 「②時刻/日付合わせボタン」を押すごとに、下図のように順に表示が点滅します。
 - 「①進むボタン/戻るボタン」で日付や時刻を合わせてください。
- 「①進むボタン/戻るボタン」を押し続けている間は早送りします。
 - 約4分以上「①進むボタン/戻るボタン」が押されなかった場合は、自動的に[通常表示]に切り替わります。

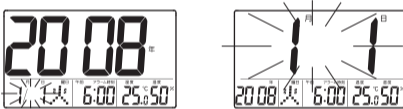
<時刻表示> <カレンダー表示>



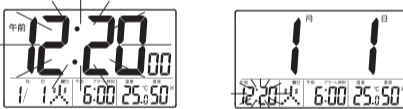
【通常表示】
普段はこの表示でお使いください。



【年合わせ表示】
「②時刻/日付合わせボタン」を2秒以上押し続けてください。
「①進むボタン/戻るボタン」で年を合わせてください。
年は2000年~2099年まで合わせられます。



【月/日合わせ表示】
「②時刻/日付合わせボタン」を押してください。
「①進むボタン/戻るボタン」で日付を合わせてください。
曜日は自動的に合わせます。



【時刻合わせ表示】
「②時刻/日付合わせボタン」を押してください。
「①進むボタン/戻るボタン」で時刻を合わせてください。
「①進むボタン/戻るボタン」を押した瞬間に、秒表示は0秒にリセットされます。



【12/24時間制選択表示】
「②時刻/日付合わせボタン」を押してください。
「①進むボタン/戻るボタン」で12時間制または24時間制を選んでください。

- 12/24時間制選択が終了しましたら、「②時刻/日付合わせボタン」を押して [通常表示] に切り替えてください。

■12時間制/24時間制の選択について

時刻の表示方法を切り替えるときは、上記「■電波を受信できなかった場合 2.手動で時刻、日付を合わせる」にしたがって、12時間制または24時間制表示を選んでください。
(受信マークが表示されている場合、時刻の表示方法を切り替えると受信マークは表示されませんが、その後受信に成功すると再度表示されます。)

■試し鳴らしについて

「⑧モニターボタン」を押し続けている間、時刻に関係なくアラームが鳴ります。

■ライトについて

「⑥スヌーズ/ライトボタン」を押すとライトが点灯し、ボタンを放してから約4秒間点灯します。

■自動受信を止めるには

この時計には自動受信を止める機能があります。
(誤受信の防止や設定時刻をずらしてお使いになりたい場合等にご使用ください。)

- 「③受信ボタン」を、「OFF」が表示されるまで8秒以上押し続けてください。
- 上記「■電波を受信できなかった場合 2.手動で時刻、日付を合わせる」にしたがって時刻を合わせてください。
 - この機能を設定した後も「③受信ボタン」を押すと受信を行います。その後自動受信はしません。
 - この機能を解除するには、「③受信ボタン」を、「ON」が表示されるまで8秒以上押し続けてください。

■補助電池交換について

屋内の明るい場所(約200ルクス以上)で1日あたり8時間使用し、アラームを30秒間使用した場合の補助電池の寿命は約4年です。補助電池が消耗すると、現在時刻や日付などが正しく表示されなくなります。そのときには補助電池を交換してください。

- 「⑦電源スイッチ」を「切」にしてください。
- プラスドライバーで裏面の補助電池ふたのねじを回して補助電池ふたをはずしてください。
- 指定の電池(CR123A 1個)を(+)(-)の向きに注意して交換してください。
- 補助電池ふたをはめてねじをしめてください。
 - しめる際はねじを強く回し過ぎないようにご注意ください。
- 「⑦電源スイッチ」を「入」にしてください。
- 「⑨リセットボタン」を先端の細いもので押し続けてください。標準電波の受信を開始します。

